

# 令和4年度 事業計画

(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

## I 基本方針

法人会の原点である税知識の普及、納税意識の高揚に努め、税制・税務に関する提言を行い、もって適正・公平な申告納税制度の維持・発展と税務行政の円滑な執行に寄与するとともに県内各地における地域企業と地域社会の健全な発展に貢献することを目的に活動し、公益目的支出計画を適切に遂行する。また、コンプライアンス・ガバナンスの徹底や適切な事務運営を目的として、これらに係る諸規程の整備を行う。

また、組織、財政基盤の再構築を図るために、地域の活性化に配慮しつつ、諸施策に取り組む。

なお、新型コロナウイルス感染症の収束が不透明な中、コロナ禍における運営に充分留意するとともに、デジタル社会に対応できる法人会を目指し、WEB環境の整備や活用に努める。

法人会活動をなお一層充実させるためには、組織・財政基盤の強化が重要であり、会員増強や福利厚生制度の全国統一推進施策に取り組む。

## II 主な事業計画

### 1. 公益関係

#### (1) 研修相談事業

- 県連においては、講師・教材の斡旋等により、単位会の研修活動を支援するとともに、役職員を対象にした研修会を持つなど、県連にふさわしい研修活動の推進に努める。
- 国税電子申告（イータックス）・ダイレクト納付と地方税ポータルシステム（エルタックス）及び、消費税期限内完納の普及推進に努める。

#### (2) 租税教育事業

- 青年部会、女性部会が主体となり事業を実施
- 青年部会については、「税の啓発」をはじめとする活動の充実を図り、「租税教室」の講師派遣を支援する。
- 女性部会については、法人会活動の充実・活性化に努め、全国的に展開している「税の絵はがきコンクール」の事業を支援し、税の啓発活動を進める。
- 「税についての作文・習字の募集」事業の協力  
引き続き、主催の中国納税貯蓄組合連合会に協賛し、それぞれ優秀作品には、鳥取県法人会連合会会長賞として賞状と副賞を贈呈する。

#### (3) 税制提言事業

- 税制委員会による3単位会の税制改正要望事項の取りまとめ
- 税制行政の円滑化を図るための要望等を関係当局に提言し、その実現に努める。
- 全国大会・税制改正要望大会への参加 ～10月13日（木）千葉大会
- 2月開催「税制セミナー」への参加

#### (4) 税の広報事業

全国統一の活動のために全法連が作成した租税教育用教材等を活用し、その充実を図る。

また、法人会のイメージアップ・知名度向上や会員増強等を図るための広報を充実させるとともに、公益法人制度改革を踏まえ、広く国民に対し税の啓発に資する広報活動を積極的に展開する。

- ホームページ、新聞、テレビ、ラジオ等を積極的に活用し、地域の特性を活かした広報に努める。今年度も、鳥取県連独自のCMを放映する。
- 会報の発行 年1回 1月発行
- 県内統一イベント「税金クイズ」を実施する。

#### (5) 助成金運営事業

県内各単位会が行う「税の適正申告納税環境の維持発展、税の啓発事業」及び「地域企業と地域社会の健全な発展に貢献する事業」に対して、全法連から事務委託を受けて、助成事業が適正かつ円滑な運営が行われるよう、助成金申請・実績報告の取りまとめ、指導・研修・調整等を行う。

## 2. 共益関係

#### (1) 福利厚生事業

コロナ禍により、福利厚生制度の推進は大きく影響を受けているが、本年度においても協力3社との一層協調に努め、「1社でも多くの会員企業を守りたい」という福利厚生制度創設時の理念のもと広く会員企業への普及推進に努める。

そのために組織委員会と一体となり会員増強施策や50周年キャンペーンなどの各種事業のバックアップ等、協力3社の相互販売を進め推進の拡大を図る。

#### (2) 会員支援事業

- 総会時、青連協、女連協の懇親会を通じ交流を図る。
- 単位会が安定した事業が行えるよう支援する。

#### (3) 会員増強活動

法人会活動を充実させるためには組織基盤強化が重要であることから組織・厚生合同委員会の開催など厚生委員会との連携を一層強化し、法人会一体となって会員増強に取り組む。

引き続き、各単位会役員一人一社以上の獲得を目標に入会活動を支援する。

#### (4) 鳥取県「とっとり出会いサポート事業」の業務受託

##### 1. 事業の目的

結婚を希望する独身者の様々なニーズに対応するため、「とっとり出会いサポート事業」での独身者に対するきめ細かな支援の充実に加え、鳥根県との連携など出会いの機会の充実や結婚の機運への熟成を図りながら、独身者の実情に沿った総合的な支援を行うこととする。

## 2. 取組内容

### ○えんトリー・マッチングシステム

会員登録、お相手検索、お引合せ管理等を一元的に電子管理するマッチングシステムの活用は、2016年1月から開始し5年経過。成婚組数は、2022年3月末で171組となった。

2018年10月山陰連携が開始になり、しまね縁結びサポートセンターの両会員とのお引合せを行い広域な出会いを提供している。

### ○えんトリー・ナコード

2021年2月から本格開始、ボランティア仲人のネットワーク化、お相手紹介事業。

「自分に相応しい相手が見つけれない」という未婚者が多いため、人を介した昔ながらの仲人マッチングを実施。効率的な出会いが可能になり、カップル成立が多く見込まれる。

### ○婚活イベント・スキルアップセミナー

一度に複数人の相手に出会える場を提供する婚活イベントや、自分の弱点を理想の自分に変えていく婚活セミナーを未婚者のニーズに合わせて企画し随時開催する。

### ○事業所間婚活

異なる企業・団体・業種との交流会を希望する独身グループ同士をマッチングさせ、新たな出会いづくりを提案する。事業所に協力企業になっていただき、えんトリーの案内や婚活イベント、スキルアップセミナー等の情報提供をする。

## 3. 取組計画

### ○会員数の増加

新しくスタートした、えんトリー・ナコードに興味をもつ未婚者や親子さんが多いため、マッチングシステムへの案内を同時にすることで会員獲得に繋げる。また、市町村、事業所間婚活のイベントでカップルになった非会員に対し、えんトリー LINE登録をしてもらい情報発信することで、活動の参加を促す。

### ○「ENPASS」協賛企業

新婚カップルや交際中のカップルに対し、料金割引や特典を実施していただける店舗、企業を増やしていく。SNSや会員に案内することで、お店を知る人、足を運ぶ人が増えお互いの相乗効果が期待出来る。カップルにとっても嬉しいサービスになる。

### ○協力企業の新規開拓

えんトリー職員による企業訪問の回数を増やし、定期的な案内や声掛けを実施。事業所間交流の場も増やしていくよう取り組む。

## 3. 管理関係

### (1) 情報開示の徹底

公益法人制度改革を踏まえ、諸規定の整備を図るとともに、法令に基づく適正な情報開示に努める。

### (2) 事務運営の充実

ホームページ等により、一般市民に対する「税」をはじめとする様々な情報の発信や会活動のPRを図る。

また、公益法人制度改革を踏まえ、事務局のより一層の充実、並びに適正な会計処理に努める。